学校教育目標「磨かれた知性　しなやかな心　すこやかな体を持ち　将来を豊かに生きる力を身に付けた生徒を育成する」

時中だより

令和５年の漢字

結

学校だよりコーナー

時津町立時津中学校
令和５年度学校だより１９号
令和５年１０月６日発行
文責：校長・副校長

時津中研究発表会！！

９月２２日（金）の午後から、時津町教育委員会指定の研究発表会が開かれました。

「豊かに表現し、共に学ぶ生徒の育成～ＩＣＴを活用した深い学びを目指して～」を研究主題として、令和３年度から研究を始め、本年度が本発表でした。

皆さんの成長を願い、先生方が様々な研究を重ね実践してきた成果を発表する会となります。時津町教育委員会をはじめ、西彼地区の小中学校の先生方など、約６０名の方の参観がありました。

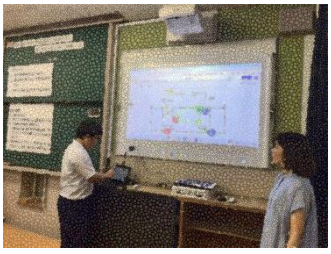
全体会で、これまでの研究の概要を説明し、その後、１年２組道徳（北川先生）、３年１組理科（尾﨑先生）、３年４組数学（川口先生）で研究授業が行われました。

【１年２組（道徳）】

「公平と不公平」という題材で、公平とは何かをみんなで考えました。ＩＣＴ端末を使用し、３つの事例を読んで、その事例が公平なのか不公平なのか、そしてその理由を考えました。また、公平にするにはどうしたらよいかなど、班で自分の意見を出したり、一緒に考えたりと活発な意見交換がなされました。

【３年１組（理科）】

「化学式とイオン」という単元で、塩化銅水溶液に電流を流した時、水溶液中で何が起こっているか説明するというめあてで学習しました。とても複雑な内容で、難しいと感じましたが、さすがは３年生で、先生の説明をしっかりと理解し、考え、発表できていました。元気な授業風景で、思わず笑顔が出てしまうような授業でした。



【３年４組（数学）】

学習内容は２次方程式。提示された図の畑の通路の幅の求め方をみんなで考えました。

答えは一つに限らず、様々な考え方があり、仲間の意見に賛同したり、感心したり、前に出て分かりやすく説明したりと学ぶことの多かった授業でした。数学は、学年が上がるにつれ、難しくなっていきますが、みんなあきらめずに一生懸命に頑張っていました。

【研究協議】

研究協議というのは、研究授業の反省会のようなものです。参観した先生方みんなで、その授業のどういったところが良くて、どのような改善点があり次につなげるか、真剣に話し合います。

どの教科も熱い話し合いが繰り広げられました。とっちゅうの生徒の元気の良さ、真剣さ、共に学ぶ姿を見て他校の先生方からたくさんのお褒めの言葉をいただきました。これまで３年間取り組んできたことの成果が出たということです。しかし、まだまだ伸びしろのあるとっちゅう生です。課題もありますので、これから改善策を立て、さらに成長できるように一緒に頑張っていきましょう。最後まで残って授業を頑張った生徒の皆さん、先生方本当にありがとうございました。

研究大会の前日まで、たくさんの方々の力を借りて準備しました。

授業準備はもちろんのこと、会場や資料の準備、環境整備など全職員、全生徒で行いました。前日の清掃は５０分行い、隅々まできれいにしました。放課後は、ハンド部のみなさんが玄関掃除をしてくれました。その他、見えないところで支えてくれた人たちのおかげで成功できた研究発表会。

どんな小さな目立たない仕事も含めてみんなで協力しないと何事も成功しないということを実感した発表会でした。